

# 正科課程 開講科目一覧

## 全学部全学科 共通科目〈1年次入学生〉

**履修方法**

S…スクーリング学修  
T…レポートと科目試験による学修  
F…SかTどちらの履修方法でもよい

●スクーリング欄の表記は以下の通りです(2024年度予定)  
A: 夏期スクーリング(対面)で開講  
B: 春期・秋期スクーリング(リアルタイム)で開講  
C: オンデマンドスクーリングで開講

[表1]

系列・科目群	科目名	単位数	配当年次	履修方法	スクーリング	備考		
基礎科目	必修2科目 4単位	学術文章作法	2	1	S	BC		
	初年次セミナー	2	1	S	C			
大学科目	2単位以上	人間教育論A	2	1	S	AB		
	人間教育論B	2	1	S	C			
	創価教育論	2	1	S	AC			
言語科目 (英語)	必修2科目 4単位	英語IA	2	1	T	ABC		
	英語IB	2	1	S				
	その他	英語IIA	2	2	T	IIA・IIBセットで履修が望ましい		
		英語IIB	2	2	S			
言語科目 (第2外国語)	選択必修 2単位以上	英会話I	2	2	S	I・IIセットで履修が望ましい		
		英会話II	2	2	S			
		ドイツ語	2	2	S	AB		
		フランス語	2	2	S	AB		
		中国語I	2	2	S	ABC		
		中国語II	2	2	S	ABC	「中国語I」の上級レベル	
		スペイン語	2	2	S	AB		
		ハンブルI	2	2	S	AB		
		ハンブルII	2	2	S	AB	「ハンブルI」の上級レベル	
		世界市民 教育科目	選択必修 4単位以上	平和学入門	2	1	F	AB
平和と人権～人権を語る～	2			1	S	AB		
ライフイベントとジェンダー	2			2	S	AB		
環境と開発	2			2	S	AB		
環境問題入門	2			1	T			
地域研究A	2			2	F	AB		
地域研究B	2			2	S	AB		
地域研究C	2			2	F	AB		
トップに学ぶ現代経営	2			1	S	A		
データサイエンス入門I	1			1	S	C		
数理・データ サイエンス・ 自然科目	必修1単位	データサイエンス入門II	1	2	S	AB		
		AI基礎	2	2	S	AB		
	選択必修 6単位以上	基礎数学	4	1	S	AB		
		統計学入門	4	1	S	AC	経済学部専門科目「基礎統計学」との重複履修不可	
		コンピュータリテラシー入門	1	1	S	C		
		コンピュータ・リテラシーI(Office)	2	1	S	AC		
		コンピュータ・リテラシーII(WEB技法)	2	2	S	AB		
		情報科学(情報と社会)	2	1	F	C		
		生命科学A(生命科学入門)	2	1	S	AB		
		生命科学B(糖鎖入門)	2	1	S	C		
		環境科学	2	2	F	AB		
		プログラミング	2	2	S	AB		
		人文・社会・ 健康科目	人文科学系	音楽	2	2	S	AB
				美術	2	2	T	
				文学入門A	2	1	F	C
文学入門B	2			1	T			
哲学入門	2			1	F	AB		
倫理学入門	2			2	F	AB		
歴史入門	2			2	F	AB		
法学入門	2			1	F	AB		
日本国憲法	2			1	F	AB		
ミクロ経済学入門	2			1	S	AB		
マクロ経済学入門	2		1	S	AB			
社会科学系	経営学入門		2	1	S	AB		
	社会学入門A		2	2	F	AB		
	社会学入門B		2	2	F	C	文学部専門科目「社会調査の基礎」との重複履修不可	
	政治学入門		2	2	T			
	心理学入門		2	1	F	ABC		
	教育学入門		2	2	S	AB		
	体育実技		1	1	S	AB	教員免許取得希望者のみ履修可	
健康系・ その他	体育講義A		1	2	T		教員免許取得希望者のみ履修可	
	体育講義B(生涯健康論)		2	1	S	AB		
	体育講義C(食生活と健康)		2	1	F	AB		
	人生100年時代のキャリアデザイン		2	1	S	AB		
	共通総合演習A		2	1	S	AB	共通総合演習Bと同じ教員は履修できません	
	共通総合演習B	2	1	S	AB	共通総合演習Aと同じ教員は履修できません		

### 注意

- 入学後、教育内容の充実のため、カリキュラムを変更する場合があります。
- 教員免許取得希望者は、「英語IA・英語IB」「体育実技」「体育講義A」「日本国憲法」「コンピュータ・リテラシー(Office)」もしくは「コンピュータ・リテラシーII(WEB技法)」を含めて履修してください(70ページ参照)。
- 「ハンブルI・II」「中国語I・II」は、それぞれの言語を母語とする学校教育を受けた場合は、国籍にかかわらず履修できません。
- 本学通学課程への転籍を希望する者は、1年次で言語科目(英語)2単位を含む26単位以上を修得(見込み含む)することが転籍試験出願の条件です。
- 系列・科目群の必修・選択必修の必要単位数を超えて修得した単位及びそれ以外の分野は卒業に必要な単位数の「その他」の単位となります。

1年次入学生はスクーリング単位数が合計10単位以上になるように履修すること

# 全学部全学科 共通科目〈3年次編入学生〉

(※3年次編入学の方は、共通科目や他学部他学科聴講科目の履修は可能ですが、卒業に必要な単位は含まれません。)

## 履修方法

S…スクーリング学修  
T…レポートと科目試験による学修  
F…SかTどちらの履修方法でもよい

●スクーリング欄の表記は以下の通りです(2024年度予定)  
A: 夏期スクーリング(対面)で開講  
B: 春期・秋期スクーリング(リアルタイム)で開講  
C: オンデマンドスクーリングで開講

[表2]

系列・科目群	科目名	単位	配当年次	履修方法	スクーリング	備考
大学科目	学術文章作法	2	1	S	BC	
	人間教育論A	2	1	S	AB	
	創価教育論	2	1	S	AC	
	初年次セミナー	2	1	S	C	
	人間教育論B	2	1	S	C	
言語科目 (英語)	英語IA	2	1	T		A・Bセットで履修が望ましい
	英語IB	2	1	S	ABC	
	英語IIA	2	2	T		
言語科目 (第2外国語)	英語IIB	2	2	S	AB	I・IIセットで履修が望ましい
	英会話I	2	2	S	AB	
	英会話II	2	2	S	AB	
	ドイツ語A	2	2	T		
	ドイツ語B	2	2	S	AB	
	フランス語A	2	2	T		
	フランス語B	2	2	S	AB	
	中国語I	2	2	S	ABC	「中国語I」の上級レベル
	中国語II	2	2	S	ABC	
	スペイン語A	2	2	T		
	スペイン語B	2	2	S	AB	
ハングルI	2	2	S	AB	「ハングルI」の上級レベル	
ハングルII	2	2	S	AB		
健康・体育科目 (その他)	体育実技	1	1	S	AB	教員免許取得希望者のみ履修可
	体育講義A	1	2	T		
	体育講義B(生涯健康論)	2	1	S	AB	教員免許取得希望者のみ履修可
	体育講義C(食生活と健康)	2	1	F	AB	
人文・芸術・思想 科目 (人文分野科目)	文学入門A	2	1	F	C	
	文学入門B	2	1	T		
	哲学	4	1	F	AB	
	音楽	4	2	S	AB	
	美術	4	2	T		
	倫理学	4	2	F	AB	
	歴史	4	2	F	AB	
社会・文化・生活 科目 (社会分野科目)	法学入門	2	1	F	AB	
	日本国憲法	2	1	F	AB	
	ミクロ経済学入門	2	1	S	AB	
	マクロ経済学入門	2	1	S	AB	
	心理学	4	1	F	ABC	
	経営学入門A	4	1	S	AB	
	トップに学ぶ現代経営	2	1	S	A	
	社会学I	2	2	F	AB	
	社会学II	2	2	F	C	文学部専門科目「社会調査の基礎」との重複履修不可
	政治学	4	2	T		
自然・数理・情報 科目 (自然分野科目)	教育学	2	2	S	AB	
	基礎数学	4	1	S	AB	
	統計学入門	4	1	S	AC	経済学部専門科目「基礎統計学」と重複履修不可
	データサイエンス入門I	1	1	S	C	
	情報科学(情報と社会)	2	1	F	C	
	生命科学A(生命科学入門)	2	1	S	AB	
	生命科学B(糖鎖入門)	2	1	S	C	
	コンピュータ・リテラシーI(office)	2	1	S	AC	
	コンピュータリテラシー入門	1	1	S	C	
	プログラミング	2	2	S	AB	
平和・人権・世界 科目 (その他)	環境科学	2	2	F	AB	
	平和学入門	2	1	F	AB	
	環境問題入門	2	1	T		
	人生100年時代のキャリアデザイン	2	1	S	AB	
	共通総合演習A	2	1	S	AB	
	共通総合演習B	2	1	S	AB	
	平和と人権～人権を語る～	2	1	S	AB	
	総合科目B(女性学入門)	2	2	F	AB	
	地域研究A	2	2	F	AB	
	地域研究B	2	2	S	AB	
地域研究C	2	2	F	AB		

## 注意

- 入学後、教育内容の充実のため、カリキュラムの変更をする場合があります。
- 教員免許取得希望者は「英語I A・I B」「体育実技」「体育講義A」「日本国憲法」「コンピュータ・リテラシーI(Office)」を含めて履修してください。(70ページ参照)
- 「ハングルI・II」「中国語I・II」は、それぞれの言語を母語とする学校教育を受けた方は、国籍にかかわらず履修できません。